

第3回「道の駅基本計画」策定に係る 意見交換会における主な意見

日時 平成31年3月19日（火） 18:30~20:00

場所 留萌市役所 3階 3・4号会議室

参加者 11名

●施設整備計画について

- ・新施設の平面図もこれから色々変わってくると思うが、レジと飲食提供スペースが離れていると人数も増えるなど、今後どのような形態で運営するかによって変わってくると思う。市内土産物店をイメージすると、その売上以上とは思いうし人も来るとは思う。
- ・出入りが正面の一ヶ所ずつとなっているが、船場公園通り側に隣接していることから、市道側にも道路を確保すべきだと思う。
- ・基本的に売り場が狭く、4千万円を売るのはちょっと厳しい。市内土産物店でもこの倍はあり、人が集まったら身動きできなくなる。
- ・バックヤードはかなり必要。汎用性を考えるのであれば、見栄えは良くないかもしれないが、後で外せるような物置などを置くことも必要。
- ・品物を見ながら出て違う施設に行けるよう。出入口が2つあった方がよい。
- ・建物の屋根については、テントシートにも良い物があり、色も鮮やかで天井も高く見せることができるので、そういう物も検討できるのではないのかと思う。
- ・管理棟2階の展望テラスに外階段を作って行けるようにし、テーブルなどを置けば、そこで食べることが出来るスペースになるのではと思う。
- ・新しい施設と組み合わせ、パッチワーク的に進めていくことから、点と点とをどのように線で結んでいくのかが、成功への道ではなかと思う。
- ・物販から管理棟まで距離があるので、もう少し近い方がよい。
- ・衛生関係で調理室のスペースが、コンクリート打ちっばなしで、水が流せることなど必要になるので、出店者には設計段階から入ってもらうというのが通常だと思う。
- ・箱モノが出来たから「来てください」といっても中々難しいと思うので、そこで何を売るのかを考えていかないと難しい。
- ・コンセプトが定まらない間は、キッチンカーなどの可動性の高いものを使って裾野を広げ、参加したいという人を募ったほうが良いと思う。
- ・キッチンカーなどのスペースを開放するであれば、施設の中以外に外で出店するという事業者の選択肢が広がると思う。
- ・JR用地を市が使えるようになったときは、地域全体が面として良くなる可能性は秘めている。

- ・トラックなどは、春先に稚貝の荷揚げのために止まっているので、将来的にはシャワールームなどに対するニーズがあるのではないかと思う。
- ・車中泊用駐車場を線路側にもってくるのが良いと思う。マチに近い方が良い。
- ・大型車はエンジンを夜から朝までかけたままにいることから、車中泊専用駐車場はトイレが遠くなくても大型車と離れたほうが良い。
- ・車中泊できる場所は皆探しているので、車中泊専用駐車場があるという情報が広まるのは早いと思う。
- ・図面を見ると初めに小さなものを作るということですが、うまくいかなかった場合は利活用ができないことから、平屋でも良いから大きいものを建てたほうが良いのではと思う。

●事業運営計画について

- ・テイクアウトはコーヒーやドリンクを見込んでいると思うが、単価600円は高く見過ぎだと思う。コンビニの単価よりちょっと高い金額で試算しないと、精度が高い数字になってこないと思う。コミュニティスペースとしてこの施設を活用していくとした場合、1回の単価より、市民に愛される場所として何回も足を運んでくれるよう、下げることができる物は下げた単価で見込んだ方が良いと思う。
- ・事業者を募って参加してもらおうとしても、どうすれば冬場でも稼げる体制を作っていけるか、若しくは、参入しても良いかなという雰囲気を作れるか、なかなか個人や小さい事業所が参入するのは難しい気がする。直ぐに撤退して、テナントの入れ替わりが激しいとリピータの人たちも「どうしたのだろう」というマイナスのイメージを植え付ける可能性もある。
- ・他の道の駅では、最初は大勢人が来るがそのあとは萎むので、計画がアンバランスだと思うので、毎年良くなっていくパターンは良いのかもしれない。